

看護部
だより

ナースキャッツ

No.13

看護の日の イベント

看護師を志したのなら載帽式で一度はお目にかかった事があると思います。クルミア戦争でローソクを灯し看護する姿、白衣の天使ナイチンゲールです。

そのナイチンゲールの誕生日5月12日にちなみ看護協会では全国でイベントが行われます。当院の看護師は静岡県中東遠地区支部に属し例年サンテラ

スユニーで健康に関するイベントを行います。今年行った項目は、血圧、血糖、体脂肪、骨密度測定、健康相談、プリーティナーです。

測定者は130名、看護師ファッションに身を包んだお子様は35人で記念撮影を楽しみました。将来の憧れの職業になればと思います。



新採用者を迎えて

4月に15名の新採用者を迎えました。職場に早く慣れ患者様に安心安全な医療を提供する為に看護部では新採用者オリエンテーションを毎年実施しています。今年度は医療安全、感染対策、静脈注射、接遇について実施してきました。中でも静脈注射に関しては基礎的知識、感染対策の視点、医療安全の視点を含めた採血実習を職員をモデルに行ないました。緊張した面持ちで何度も手技を確認しながら実施しました。

基礎研修を終了した新採用者は、各職場に配属され1ヶ月が経過しました。早く一人前に働けるようにと日夜努力していることと思います。余裕がないこの時期は、自分中心の仕事になりやすいので、患者中心のケアの心を忘れない為に入院体験を実施しています。病衣を着て病院食を食べ、夜勤看護師から排泄の援助を受けます。ケアを受ける患者様の気持ちをお忘れしないで、相手の思いを感じ取れる看護師になっ



入院患者体験

患者体験でポータブルトイレの排泄をし、周りに人がいるのに、カーテン1枚での排泄は、とてもつらかったです。また、少しの時間でしたが、ベッド上で時間を過ごすのは、意外と疲れるんだと感じました。

今回の経験で、入院生活を送る患者様の気持ちを、少しですが知ることができ、制限された病棟生活の中でも、できるかぎりのプライバシーの配慮をしていこうと思いました。

また、笑顔で接してもらおうのは、やっぱりうれしいものであり、笑顔を大切にしていきたいと思っています。

先輩からのアドバイス



4月30日
(水)、当院
サロン講義
室にて先輩
職員と語る
会がありました。

新規職員が業務に就き、1ヶ月が過ぎました。まだ、不慣れな点もありますが、先輩が一生懸命アドバイスをしていました。